

松戸市文化財保存活用地域計画(案)に対する意見内容及び市の考え方

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
1	9	図5 松戸市の地形類型	この図から松戸市について語り始めるのはとても分かりやすく良いと思います。 松戸市立博物館にもこの図に展示物の位置を入れたものが欲しいと思いました。	松戸市立博物館は今後展示等のリニューアルを検討していく中で、いただいたご意見も参考にさせていただきます。	無
2	36	陸軍工兵学校と千葉大学工学部(旧東京高等工芸学校)	>現在の松戸中央公園と聖徳大学 P37、1行目と重複しています。	重複している部分について削除します。	有
3	54	松戸宿から水戸道中を小金宿へ	ここで書かれている八坂神社は江戸時代当時のもので、現在はピコティ北小金東館の南に石碑が残っている場所を指していると思います。 P107の図72では「旧八坂神社跡」になっています。 現在の八坂神社の位置を思い浮かべるとここで書かれている道が分からないので、「八坂神社(現在は移転の際の石碑がピコティ北小金東館の南に残る)の手前で直角に折れ」等の注記があると良いかもしれません。	ご意見ありがとうございます。 表記の方法について検討してまいります。	無
4	73	⑥継続的な現状確認の強化と計画的な修復	地域との連携として、「月刊新松戸」に掲載されている「関さんの蔵通信」のように地域の人が整理している史料なども松戸市として収集や整理が進められていればと思います。「月刊新松戸」などのミニコミ誌も松戸市立図書館に所蔵されているものはあるようですが、松戸の話題をまとめた民間のウェブサイトもサービス廃止になると見られなくなることを考えると、松戸市のデジタルアーカイブでの保存を考えても良いのかもしれない。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
5	74	⑪整理作業と収蔵スペースの確保と環境整備	松戸市がこれまで行ってきた文化財関連の事業を包括的に紹介されており、よくわかりました。今後の展開を期待します。松戸市は開発が進んでおり、世代交代が進むといよいよこれらの記憶が失われる危険が(ほかの地域より)かなり高いかと思えます。喫緊の課題としてぜひお進めいただけるようお願いいたします。 ここで対象となるものはいわゆる美術館・資(史)料館・博物館が扱うもので、膨大であり、それらは各々必要なスペース・施設が別々に存在すべきです。図書館は今後、現物自体がデジタルになるものも多く、収蔵庫の問題は限られるでしょうが、作品自体を保管する必要が生じるこれらの機関においては収蔵庫およびバックヤードが極めて重要な意味を持ちます。しかも、民俗系の資料、歴史系の文献、美術系の作品は求められる条件が異なり、最も望ましいのは別々のスペースで保管することです。松戸市のような入れ替わりが激しい地域では、個人で継承できない作品・資料は今後増加するでしょうし、場所の確保が最も大きな課題とすべきではないでしょうか。他の地域の公立美術館・博物館を見てみても、複合的なものについては収蔵庫の問題がかなり深刻化しています(神奈川県歴博などで聞き及んでいます)。又、別々に組織化されているものでも線引きの問題などで苦労されているようです(栃木県博・美など)。特に、美術系については柏・我孫子にも美術館はなく、本来地元にあるべき作品がやむを得ず東京所在の機関に寄贈されている例を複数聞き及んでおります。 各々の将来的な保管状況を鑑み、収蔵庫、バックヤードの狭隘化の問題を強調した上で、何らかの方策を試みるべきではないでしょうか？よろしくご検討のほど、お願いします。	ご意見ありがとうございます。 市所蔵作品や資料の収蔵スペース不足は、専用施設を持たない美術作品や発掘調査の出土品・記録類に限らず、既存の博物館、戸定歴史館にも共通する課題です。 美術作品については、展示施設の整備を課題としていますが、収蔵スペースの確保・整備についても検討してまいります。発掘調査の出土品・記録類についても併せて検討します。	無
6	75	デジタル美術館・デジタルミュージアムの開設	デジタルミュージアムは松戸市立博物館のホームページにあるのを知っていましたが、デジタル美術館については知りませんでした。デジタルミュージアムからのリンクがあってもいいと思います。	「松戸市デジタル美術館」は市公式ウェブサイト上で公開しており、松戸市所蔵の美術資料等をご覧いただけます。また「まつどデジタルミュージアム」トップページにリンクがございますので、そちらからも閲覧していただくことができます。	無

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
7	78	クイズラリーなどイベント等の実施	<p>コロナ禍で見合わせた「史跡めぐり」を復活させたとしても、文化財クイズラリーや謎解きラリーはテーマを変えて実施しても良いかと思えます。自分で都合のよいときに回れる企画は複数あった方が良いでしょう。</p> <p>こちらで書かれているラリー等は文化財保存活用課のものだけだろうと思えます。経済振興部にぎわい創造課の「まつどdeスタンプラリー」に文化財コースがあったり、健康福祉部健康推進課や、福祉長寿部高齢者支援課の「るるが特別編集 いきいき松戸市」のそれぞれのウォーキングマップにも文化財の記載があります。そうした他の課のラリーやマップのデータや利用状況などが、担当課を超えて共有し活用されることを期待します。</p> <p>「いきいき松戸市」のマップにはトイレだけでなくベンチの案内があったり、健康推進課のマップではAEDや避難所の案内があるものもあり、恐らく新しいものほど必要とされるデータが増えているのだろうと思えます。利用者の声も反映させて、より良いものになることを期待します。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>クイズラリー等のイベント実施については、ご意見を参考に検討させていただきます。</p> <p>また、他課のスタンプラリーやウォーキングマップのデータ提供や利用状況については、関係各課と連携し情報共有しております。</p>	無
8	79	⑭展示空間の刷新と施設の拡充及び確保	<p>昨年10月に市立博物館で「松戸のたからもの」を学芸員の方のお話を聞きながら見る機会があり、特にデザインや工芸品などが素晴らしく、住む街にゆかりがあるのがとても嬉しくなりました。常設など、子どもたちをはじめ多くの人たちもの身近に感じるような展示をお願いしたいです。</p> <p>それと、大正生まれの祖母から松戸の戦争中の話を聞いたことがありますが、博物館では戦争中についての展示はあまりないと思います。市役所のHPには戦時中の資料収集をしていると記載があったので、子どもたちの平和教育のためにも企画展などで市民の目に触れる機会を是非お願いしたいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>子どもたちをはじめ、あらゆる世代の市民を対象とした所蔵作品等を公開する場所の設置については、「(仮称)文化複合施設基本構想」において検討してまいります。</p> <p>また、博物館の展示につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>	無
9	79	⑮学校との連携	<p>コロナ禍が解消されれば、社会教育との連携はますます進むことと思えます。</p> <p>学校との連携についてより積極的にしていただくと嬉しいです。</p> <p>先日、小中学校の美術教員10名ほどと元校長先生と懇談の機会を得ました。</p> <p>その中で、「博物館学芸員の出前授業」などは空き教室で資料保管をしている学校以外の学校にも提供することは出来ないでしょうか。</p> <p>特に小学校の先生からは「是非内容が知りたい」という声が多く、ご検討いただけたら嬉しいです。</p> <p>また、以前に常盤平第二小学校で実験的に行った大橋正さんの作品で行った「移動ミニ美術館」等も先生方の興味関心が高く、施策としてあげることで、遮光幕や展示用の備品などがより作品にとって安全な形で提供出来るような形を整え巡回する事が望まれます。</p> <p>また、模写で描いて頂いた作品等も同時に展示出来ないものでしょうか。(本物と混ざることには問題がありますか?)</p> <p>これらの博学連携の取り組みは小学生くらいの低年齢から折に触れて松戸の文化財等を専門家を通して「知る」ことから、ささやかに「ふるさと松戸」への愛着と誇りの熟成の種蒔きとなり、いずれ地域固有の歴史的・文化的な資産を次世代に引き継いでいくことに繋がる人材形成になっていくことを願います。</p> <p>2016年から始まった「博物館アワード」は創造的な作品作りの発表の場として松戸市内外からの募集であることも素晴らしいと思えます。</p> <p>課題設定が決められた美術の授業が多い中、「作品の主題を自ら考えて作品作りをし発表出来ることの大切さ」が浸透していく事を願います。</p> <p>これも文化財や歴史に低年齢から興味を持って深く思考するきっかけになることを期待したいです。</p> <p>戸定邸の庭園は子供達の成長と共に成長復元されている最中です。心に残るとどめ方を考えて頂きたいです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>博物館学芸員による出前授業については、希望があった学校に対して実施しております。</p> <p>戸定歴史館では、学習支援専門員による出前授業を随時実施しております。</p> <p>また、埋蔵文化財の出土品を管理する小学校に出前授業を実施しております。</p> <p>「移動ミニ美術館」は作品をより安全に展示できる仕組み作りを検討してまいります。</p> <p>「博物館アワード」は毎年自己検証しながら、今後も継続します。</p> <p>戸定邸庭園については「名勝旧徳川昭武庭園(戸定邸庭園)保存活用計画」を策定済ですので、それに基づき保存・活用を推進してまいります。</p>	無

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
10	79.80	⑮学校との連携 ⑯若い世代へのアプローチ ⑰普及事業の見直し	<p>私は、芸術教育にはプロのアーティストの関与が必要であると考えています。例えばフランスにおける芸術教育では、学校の教員による授業ではなく、参与アーティストやレジデンス・アーティストによって授業が行われており、それが必須条件とされています(あくまでアーティストは教育者ではなく、アーティストとして授業を行う)。</p> <p>この取り組みは、この度の地域計画案に明記されている「子どもたちや親子をターゲットにした取り組みを強化すること」に関係しています。</p> <p>美術作品と関わることは、自己との、他者との関わり方を学ぶ事でもあります。作家を通して作品を鑑賞することで「何故この人は作品を作ったのか？」等と考えることは、個人の柔軟な思考と、他者への理解を育てます。授業で出会った作家たちの展覧会を見に行ったりして、新たなコミュニティの形成にもなるでしょう。</p> <p>同時にこれは、私のような現代作家が、社会の中で育つことの後押しにもなり得ます。現在私の活動拠点は松戸市ですが、周辺には少なからず同世代である30代の作家がおり、そのほとんどは別の仕事で生計を立てながら活動を続けています。アーティストがアーティストのまま社会で活動できる方法を、松戸市において実践する意味は多分にあり、その効果は、フランスが芸術文化大国と呼ばれることから見て取れます。</p> <p>最後に、私は松戸市美術館の設立を希望しています。上記のような新たな取り組みを実践する上で、現在分散所蔵となっている美術作品に市民が出会える機会を設ける為にも、プラットフォームとなる美術館が必要です。</p> <p>私は、先人の作家たちが制作し、それを伝えようと尽力した方々によって今日見ることのできる作品たちと、時代の異なる私たち現代の作家の作品が、混ざり合うような展覧会を夢見しています。どちらか片方だけでは会場に訪れない客層を集めることも可能でしょうし、年齢層の偏りも緩和され、来場者の思いがけぬ興味を引き出すことにも繋がると考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>美術教育の場において、作家の授業を受ける機会を設けるのは意義深いことと思います。ご意見は学校教育担当課と共有します。</p> <p>また、本文に記載の「美術作品の出張展示を定着させる」を「美術作品の出張展示や地域の作家の出前授業などを実施する」に訂正いたします。</p>	有
11	80	⑰普及事業の見直し	<p>デジタルミュージアムについて、あらかじめ設定したテーマやストーリーにそってデータをまとめてスライドショーとして見られるものを複数用意しておくとも良いと思います。現状だと、閲覧者が明確な目的や予備知識を持っていないと何があるのかよく分からないと思います。</p> <p>博物館の展示ではできないようなストーリー(シルクロードコレクションと同時代の松戸市にあったものを並べてみる、或いは衣類や装飾品などに限定したデータだけを年代順に並べてみる等)を組むと、デジタルミュージアムならではの楽しみ方にもなるかと思えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「まつどデジタルミュージアム」は令和4年4月から導入されております。引き続き歴史情報を追加し、コンテンツの充実を図ってまいります。</p>	無
12	81	⑱地域振興・観光への活用	<p>「歴史の道」などの情報発信に関してですが、千葉県館山市ではウォーキングマップを「〇〇のみち」などとしてまとめて、案内標識にもそのルートの名前が書かれていてとても分かりやすかったです。マップには距離や所要時間、避難場所の案内もありました。松戸市でもこうした分かりやすい「歴史の道」が整備されることを期待します。また「歴史の道」の選定には地域の住民が参加して、地域の実情を汲んだものになることを望みます。</p> <p>松戸市が管理しているものではないかもしれませんが、北小金駅南口のペDESTリアンデッキのイオン北小金店入口前にある案内標識には史跡への距離があるだけで案内図がないようで勿体無いと思いました。案内標識にある「マツモトキヨシ発祥地」の現地には往時の写真入りの説明板があって、こういうのは分かりやすくて良いと思うだけに、案内図が欲しいところです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>「歴史の道」整備につきましては、いただいたご意見を参考に、整備に向けて検討してまいります。</p>	無

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
13	84	表7 基本方針と課題の対応 基本方針4 松戸の歴史文化を守るため、地域とのつながりを深める ⑩文化財所有者等や地域とのつながり ⑪財政的な支援と支える仕組みづくり	民間で保存されている松戸市の歴史的・民俗的な文化財についての積極的な支援制度が必要だと思います。今、多くの歴史的な文化財が刻々と廃棄されています。特に、建築物が次々と壊されています。残されているものを、できるかぎり保存する方針を決めていただきたいと思います。 『関さんの森エコミュージアム』では、関家に保存されている門と蔵を、後世に遺すために調査・点検し、簡単な修繕を行っています。できるなら、昔(建築された江戸時代)の状態に戻したいと思っていますが、復元のための費用が多額に必要なので、なかなか思うようには復元できません。この関家の門と蔵は、都市計画道路の線形を変更することで残された貴重な文化財ですので、未来へより良い形で残したいと思いますし、市民特に子どもたちの学習のために活用したいと考えています。すでに、一般公開も行っていきますし、小学生等が見学にきています。 こうした文化財を保存したいという意志はあるものの、保存のための費用(管理・修繕)が嵩むことで、あきらめて廃棄、撤去している家も多いと思います。保存したくない場合は仕方ないとしても、なんとか保存したいと考えている場合に、間に合うように、早急に支援制度を作ると計画で決めてください。文化財を遺したいと考えているのは、高齢の方が多いと思いますし、その所有者が亡くなると、相続した方により、廃棄・撤去される可能性が高いので、一刻も早く支援制度を作る必要があると思います。	ご意見ありがとうございます。 文化財の滅失や散逸が緊急の課題となっている現状認識がある中で、できる限り保存していくことが望ましいとの認識を持っております。 財政的な支援をはじめとする支える仕組みづくりを検討してまいります。	無
14	89	(基本的な施策) 4.文化財や所蔵資料におけるICTを活用した整理等 8 文化財情報の整理・データベース化・公開	新たに松戸市に流入する市民が増える中で、そうした人々に松戸の魅力を知ってもらうための取り組みは意義のあることだと思われま。特に5つのストーリーごとに関連文化財群を設定して説明することはわかりやすい試みであり、そのすべてが松戸市内に残っていることは素晴らしいことだと思われま。これは現在松戸市に住んでいる人たちだけでなく、松戸市を出た人たちにも松戸市に戻ってきたい気持ちにさせる内容だと思われま。 しかし、松戸市の開発と宅地化が進んだこともあり、そうした縄文時代の遺跡、中世の城郭跡や宿場町の名残等も人の目に触れにくく、市民も実感として感じるのが難しくなっているのが実態です。そのため、できればこの機会に、個々の文化財のデータベース化だけでなく、それぞれのストーリーに沿ってCGを使ってリアル感のある映像化を行い、市民がそれを視聴することができれば、より一層松戸市の歴史と文化に親しみを感じることができるのではないかと思います。	ご意見ありがとうございます。 本計画策定を機に、より一層市民に本市の歴史文化に興味を持っていただけるよう努めてまいります。	無
15	89	(基本的な施策) 4.文化財や所蔵資料におけるICTを活用した整理等 8 文化財情報の整理・データベース化・公開	3Dデータの製作を希望します。 古地図など縮尺が正確ではなくても、ポイントを押さえたものや 逆に近代間近で縮尺・等高が比較的正確なもの、現地調査で計測されたものなど 松戸市エリア・東葛エリアの歴史・地形・戦国時代の戦術 宿場人溜まり仕組みなどを知る上で重要で生活にも活かせるデータ・地図があります。 風土は、歴史・地理・自然科学の要素もあります。 風土を知らない行政も市民との乖離が大きくなるのではと思ひます。 エリア資産資源の見える化を進めて欲しいと思います。	資料の3Dモデル化につきましては、令和4年度に松戸市立博物館にてワークショップを行いました。今後もこのような取組を充実させてまいります。	無

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
16	95	11.幅広い世代へ向けた情報発信の強化 35 効果的な情報発信のための普及事業の見直しと改善	<p>私は「千葉県生涯大学校 健康・生活学部・社会生活部で班長」をしております。授業の中のテーマ活動で、松戸市の歴史を調べ、まち歩きをしました。</p> <p>以下が、その感想ですが、今回「松戸市文化財保存活用地域計画(案)」でパブリックコメント募集と有りますので提出させていただきます。</p> <p>なお、令和4年11月1日 松戸市役所に提出させて頂いたものと、ほぼ同じです。</p> <p>「戸定邸～西口地域」の史跡が、松戸市の地域資源になるのか？まち歩きしました。史跡見学する者にとって、これ程沢山の史跡がギュッと詰まっって「当時に思いを馳せながらまち歩きを楽しむ」事が出来る、素晴らしい町というのが、率直な感想です。</p> <p>反面、この史跡が「地域資源」として活用されていないのは何故だろう？と感じました。</p> <p>そこで、史跡見学者としてパブリックコメントさせていただきます。</p> <p>1. 観光協会資料に基づき「松戸駅西口地区」を中心に見学しました。</p> <p>(1) 河岸と関所・街道・舟運の町として宿場・社寺が造られ、町の中心が出来た。 勾配の少ない平坦な地形は、坂川(当時も一部逆流)水災害で苦勞した町と感じた。</p> <p>(2) 平坦でそれほど広く無い町は、年寄りが見学しても、体力的に無理なく・適度な時間(午前2時間、昼食を入れ、午後2時間)で巡れる、好印象の町です。</p> <p>2. 史跡見学の立場から見ると、以下の問題点があります。</p> <p>(1) 何を史跡として見学するのか？→観光協作成の資料に基づき、見学をスタート</p> <p>① 道路上に史跡への道案内は全く無かった(見にくい場所に有るのかも知れない)</p> <p>② 史跡場所に、表示が有った(13件59%)、無いもの(9件41%)。 ※神社・仏閣は除外しています。</p> <p>③ 史跡表示が「雑草で見えず2件」、「劣化し判読不能3件」 つまり、22件中14件≒64%の史跡については、場所を探すか、判読に苦勞した。</p> <p>(2) 史跡見学者の希望</p> <p>① 史跡場所に番号を付した何か有って、地図にも番号が有れば最高です。 仮に、時間が足りなく当日廻れなくても、再度挑戦出来る様にすれば、また松戸に来ることになる。</p> <p>② 駅前の案内図(板)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の掲載内容:神社・仏閣・公園・学校・警察・市役所と公共関連施設等。 ・掲載されている史跡は、極く一部で西口史跡が沢山有ることは、全く判らない。 ・一方、生活者目線の地図ではない:食事・トイレ・休憩場所。外国語表記。 <p>更に、障害者目線「バリアフリーやエレベーター」や災害時目線「避難場所や病院など」が無い</p> <p>③ 町中ミュージアムの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「坂川」の看板が、彼方此方に有った。水災害に苦しんで来た町で、坂川に対する思いが看板になった気がします。そこで、一ヶ所に集め「坂川と我が国近代治水の原点」や、治水対策に取り組んだ人達の「苦勞と歴史」を見るのは如何か？ <p>④ 見学コースのハイライト、堤防から見る「江戸川」と「街並み」。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防沿いの道路は交通量多く、怖がって渡れない方もいた。 ・河岸で栄えた町のメインである江戸川を見学する意義は大きい。信号や横断歩道を期待。 <p>⑤ 戸定邸のガイド予約受付を徹底して欲しい→ネット申し込みが良いのかも。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話申込、日時氏名を復唱。でも、当日「ガイド会議」で不在。信じられない! ・その後急遽代役(小学生担当)の方が、対応してくれ、大変有り難かった。 ・見学中、他の見学者が増加(増加した見学者は途中からの解説となり気の毒) ※ガイドさんの解説次第で、見学者はリピーターや史跡宣伝者となる※ <p>⑥ 「幸田貝塚跡や小金城址(公園)」を見学した際の問題点。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松戸市史を読み、千葉県NO.1遺跡の認識で見学。 ・しかし、駐車場が無く、雑草も酷く(大量のやぶ蚊に襲われ、薬局へ直行)公園としての要件が満たされていないと感じる。 ・更に、徒歩圏外から車の来訪を考えるべき遺跡だと思います。 	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画の基本的な施策に「地域振興や観光への活用促進」があり、本市の歴史文化に関するストーリーに合わせた関連文化財群を設定しており、今後関連文化財群に沿った「歴史の道」の整備を取組の中に盛り込んでおります。</p> <p>ご意見は今後の取組の参考とさせていただきます。</p>	無

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
17	96	(基本的な施策) 13.地域とのつながりの強化 40 文化財所有者等との意見交換や情報共有の円滑化 14.市内全域における文化財保護の支援 42 財政的な支援をはじめとする支える仕組みづくりの検討	新松戸にあった郷土資料館が廃止されたのは残念でした。残された資料がどうなっているのか気になるのですが、同じ松戸市とはいえ、地域に残された文化財は特徴があり、それぞれに遺していきたいと思います。今回の令和5年から12年もの長期計画において「情報把握に努める」では、とても間に合いません。これまで、民間に保存されている文化財について、アンケート調査が行われてこなかったことがまず驚きですが、この計画案には、市内に遺された民間の文化財を保存しようという本気さが無いと思います。以下のような計画を求めます。 ・今年度中に、所有者・管理者へのアンケート調査を実施する。 ・所有者・管理者の文化財保存の意向を確認し、保存を支援する。 ・文化財保存検討委員会等を設置し、保存の方法を検討する。 ・補助金制度を早急に創設し、文化財保存を支援する。	ご意見ありがとうございます。 所有者や管理者へのアンケート調査については令和2年度に実施したところですが、今後は年1回の調査を実施していく計画です。そのうえで所有者・管理者を支援する仕組みづくりに努めます。	無
18	その他		「時代を表すフィルム画像認定」 小金原中央商店街は開業50年余。開業以来続いている写真のファミリー商会有りです。 また市の施策として「子育て」があります。 私は1970年2歳より小金原団地から住み始めました。 手元に昭和45年にファミリー商会で撮影した写真があります。快獣ブースカ(円谷プロ、ウルトラQ)に抱かれた2歳の私の写真です。 ファミリー商会企画の撮影会でした。背後にブジカラーの看板・ガラスケースにある販売中カメラなど。カメラは日用品ではありませんでした。 私をおぶって日々疲れていた母は、店前で広告を見つけ、「記録を残してあげたい」と予約して撮影してもらいました。 もしファミリー商会に時代を表す小金原の画像フィルムが残っているのであれば、所有・権利はファミリー商会としても博物館で再現の常盤平団地、また市内寺社の宝物と同様に、かつて1学年10クラス40名以上だった小金原地区学校状況時代の活気ある画像情報。 情報文化財として認定をすべきと希望します。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
19	その他		「平賀の源氏ブランド」本土寺住所の平賀氏とは？ 本土寺赤門前の本土寺由緒に源氏の高流とあります。 流山市駒木”諏訪”神社には「義家の献馬」甲斐武田・常陸佐竹と下総平賀は無関係なのでしょうか？ 下総千葉氏系甲斐武田家臣と穴山氏による武田名籍と日之上松穴山氏養女から継ぐ武田名籍、秋山つま様輿入れから武田信吉誕生時期の出来事について また、関宿多項絵地図から見る日之上”松”と思われる”松はあるのか？ 明治40年水戸家当主徳川昭武の墓参・以後の水戸徳川との繋がりについて？は私からの問い合わせではなく無関係と言い切れないのであれば、考察として記載を希望します。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
20	その他		市内現存の鉄道関連レンガ構造物について、鉄道線路設計において気にならなくてはならない”勾配”(パーミル)。 松戸市内の鉄道設備で現存しているレンガ構造物はいくつあるのでしょうか？ 常磐線北小金駅から約1kmほど西側にある流山隧道。下谷から北小金駅間の勾配はまさに小金城の城郭外壁を登る勾配です。 戦国時代の山城(大谷口)地形を登るために盛り上げた土台。 しかし、土台だけでは小金南側から下谷・流山側へ行くには隧道がなければ、周囲2kmを迂回しなくてはなりません 車1台分の横幅の流山隧道。明治13年には線路が出来ています。 松戸市内、近代化常磐線の隧道、古いものであれば文化財に指定すべきと思います。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無

No.	頁	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え方	修正有無
21	その他		市内エリアの分岐点であった五助木戸。水脈としても分水嶺があるという五助木戸。 五助木戸は東西には松戸納魚河岸から布施、南北には佐倉から根木内または馬橋(熊野神社・佐野八坂神社経由)へと分岐している場所です。(五香十字路) 慶應3年には、徳川昭武の外交努力によりフランスからアラビア馬がフランス人調教師とともに到着します。 幕府は由緒ある馬場である小金牧(五助木戸、金ヶ作役場)を飼育場所と定め、飼育するため小金宿・根木内と五助木戸を往復したかと思えます。 是非、市内の中央の分岐点である五助木戸と旧道を文化財に入れていただきたく思います。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
22	その他		旧陸軍鉄道第二連隊演習線跡の”標柱・標石”は、コンクリートですが文化財にはならないのでしょうか？ バイパス前の標石が栗ヶ沢付近にも有ります。また、辿ると、まだ、かつての面影を残す小路となっていたりします。	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
23	その他		市内旧道について文化財になるのでは？ (1)”五助木戸”ポイントからの旧道 布佐宿・五助木戸(銚子屋)・風早神社・松戸納屋河岸 五助木戸・中の牧(初富) 五助木戸・根木内 五助木戸・金ヶ作熊野神社・佐野八坂神社・馬橋 (2)風早神社・明治神社・(地形際)・馬橋 (3)本土寺・石碑・日光街道・前ヶ崎 (4)本土寺・石碑・香取神社・幸田貝塚・旧千葉氏館跡・千葉氏系八木 など	ご意見ありがとうございます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。	無
24	その他		分析を終えた出土物保管・レプリカ展示・文化財紹介について現地近くに分散し、地図・地形・地質・植物などの情報を含めた市民応募の現地セミナーの実施をされては？ また、厳密な管理環境を必要としないものは、人住環境としては耐震強度の建物期限が過ぎた公共設備の活用をしては？	ご意見ありがとうございます。 埋蔵文化財に関する展示を含む、普及事業の検討にあたり、今後の参考とさせていただきます。 また、本計画において市所蔵の文化財収蔵施設に関する課題を整理し、各施設で確保や整備を検討してまいります。	無
25	その他		松戸市の市史の改定をしないのでしょうか？ 記載の中には、筆者の個人的な見解なのではと思える箇所もあります。 市史検討の組織が必要かと思えます。	市史検討の組織については、松戸市史編さん委員会がありますが、現時点では市史の改訂等の予定はございません。	無